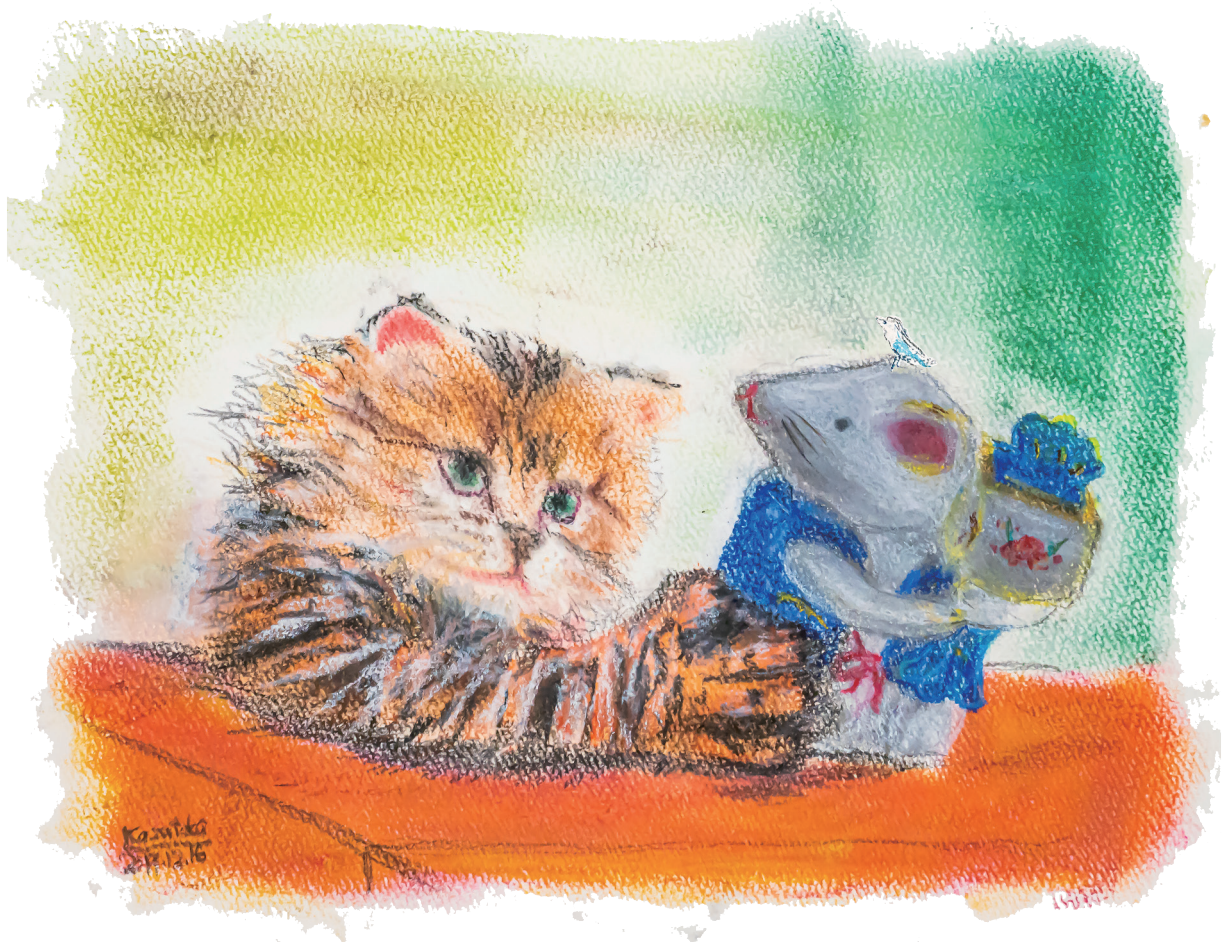




絵・石井一隆(当事者)

なごみだより

令和元年度冬号(第28号)

とちぎ高次脳機能障害友の会 2020.1.20発行



この会報誌は、赤い羽根共同募金の助成金により発行しています。

———— 2019年(第9回)高次脳機能障害講演会・佐野 ————



▲会場の様子



▲集合写真



▲船山道隆先生講演の様子

はじめに

昨年 10 月の佐野市における講演会の
ほぼ一週間後、台風 19 号による大雨で
佐野市をはじめ県内数カ所の中・小河川
が氾濫、甚大な被害が各地に発生しまし
た。その時被災された方の中にはまだ
に元の生活に戻れない方もあり、不安な
中で年を越された方もおられるのでは
ないでしょうか。心からお見舞い申し上
げます。

年々気候変動は激しさを増しているよ
うに感じます。想いおこせば私達の生活
も、半世紀前の少々不便さはありますが
おだやかな日常が当たり前の生活は今、
大きく変貌しました。私達はこの半世紀、
便利な物を沢山作り出し欲しい物を手に
入れ、それによって生まれる満足感を追
い求めてきました。その結果今の社会が
つくられたわけで、その結果においては、
良いことも悪いこともしっかり受け止め
なければならないと思います。しかし、
この辺で一度その歩みを振り返り、私達

の選択が私達にとって正しかったのかど
うか省み、これから先の目指すもの・努
力するものを決定（選択）してもよいの
ではないでしょうか。そしてその決定は、
時間的にもさほど有余のある話ではな
いように思えます。（頻発する自然災害や
紛争、殺人や暴力そして貧困や差別など）
めまぐるしく日々を送る社会の中では、
他への思いやり、いたわりあう心、いつ
くしむ心などなかなか育たないものだ
と思えます。私達の人としての幸福感は
どのような社会にあるのか、今、一人ひ
とりがそれぞれの責任の下にしっかり
考え、意見や行動に示す時なのではな
いでしょうか。

とちぎ高次脳機能障害友の会
会 長 中 野 和 子

目次

はじめに.....	1
活動報告.....	2 - 8
研修会・委員会・その他の活動報告.....	9, 10
栃木県障害者総合相談所より	10
2020 年 1 月から 3 月の活動予定.....	11
新聞 TV ニュースの中から	12
おすすめの本.....	13
2019 年度ご支援くださった皆様	14
入会のご案内.....	15

活動報告

9月 定例会

9月14日(土)13:00~16:00 ぽぽら 参加者16名

＜仲間リハ＞パステル画

今回は秋の果物・野菜に加えて器も描こうということになり、数種類のお皿やカップも準備されました。その上“すべての物は一色でないことを意識しましょう”“輪郭を画くときはできるだけ細い線にしてみましょう”と二点に努力目標を定めて取りくみました。まず何を画くかの選択で悩み、なかなか思い通りの色や線が描けないことに悩みながらも1時間半集中する時間が続きます。その中で早々に完成を宣言する人もあれば時間が足りないと言う人もありさまざまですが、出来上がった作品はまた個性的！！です。その日の体調、心の持ちよう、回

を重ねることで描くことへの工夫など、自他共に個々を再認識できる時間です。最後に石井一隆君から「定着スプレーをかけた後でも上から色を塗り直せますよ。」というアドバイスがあり、ほっとした表情の人も何人かいたようです。

＜なごみの会＞

○パステル画作品についての話し合い

描いた人の思いと周りの人が感じたこと

○10月の講演会について

JR 宇都宮駅と健康の森から佐野市の会場までバスの運行があることを説明。

10月6日(日)13:30~15:40 佐野市中央公館

10月 第9回高次脳機能障害講演会＜佐野＞

参加者148名

テーマ

高次脳機能障害の特質と地域連携支援
講師

足利赤十字病院

神経精神科部長 船山道隆 先生

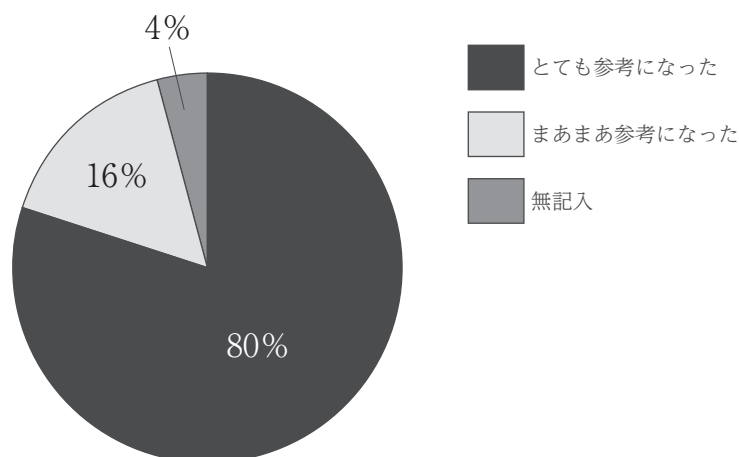
予想以上に沢山の方が参加して下さいました。特に家族・当事者の参加が6割以上を占め、この安足地域及びその周辺に、私達の予想をはるかに上回る高次脳機能障害の方々が生活しておられることを改めて認識させられる機会でした。当日参加された下野新聞の記者の方も驚かれたようで、事前の予告記事だけでなく後日もこの講演会の様子を記事にして下さいました。ご覧になった方もいらっしゃると思います。

ご講演いただいた船山先生や足利赤十

字病院のスタッフの皆さんの日頃の取り組みのお陰でもあると強く感じました。更に今回は地元の佐野市障がい福祉課との共催という形でご協力いただいたり、佐野市の福祉界で大きくご尽力されておられる NPO 法人風の詩代表永島徹さんのご協力も大きな力でした。ありがとうございました。このように多方面の方々のお力添えで実りある講演会だったのですが、ただ少し残念だったことは安足地域の相談員さんの参加が予想の半分以下だったことで、この地域におけるこれからの支援のあり方に大きな不安を抱かざるをえませんでした。支援のための障害理解はまず当事者や家族とできるだけ多くの時間や空間を共有し、その行動を肌で感じその言葉に耳を傾けることから始まると、私達は考えます。

<講演会後のアンケート>

今回の講演について

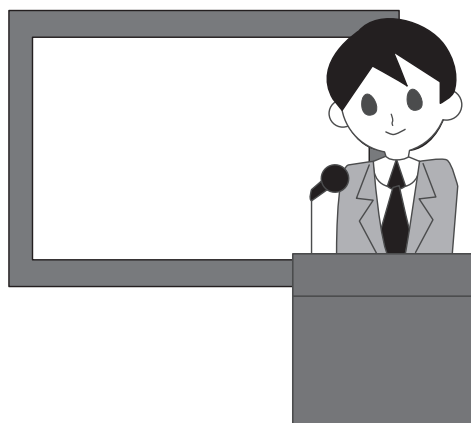


感想 —多くの方にご感想をいただきました。ありがとうございました。—

<当事者・家族>

- 私も当事者ですが相変わらず記憶の機能がほとんどなく、今だにメモをとるしかありません。生活しづらいです。
- 近親者として当事者への接し方について大変参考になった。
- 脳障害の奥深さが分かりました。現在の病院は病院サイドの治療法で本人の意向、患者サイド、患者中心の治療とは言えない規則がありすぎる。
- 自分も船山先生の診断を受けてこの障害と出会い、知りました。たくさんこの障害について学び前進したいと思っています。“愛情は優しさだけでなく厳しく教育することも必要” 頭にいつも置き、頑張ります。
- 当事者の病気・障害の理解、やる気、向上心がとても大切だと感じました。周りの人間の理解、サポートの大切さも感じました。
- この障害に対する認識がなかったので付きそいではありましたがとても良かったです。

○高次脳機能障害の息子は 38 才で交通事故にあい、55 才まで会社で働きました。現在は退職後好きな神社参りにこって自分で東京まで行きます。外出や人との会話も積極的にしています。もう少し落ち着きましたら自分の適した仕事をさせたいと思います。



- リハビリのレベルを支援者が積極的に高めていく等参考になった。
- 高次脳機能障害を全くわかりませんでした。したがって今回参加して勉強になりました。
- 大変良かった。目標づくり、何ができるか、できることをどう見つけるか。
- 船山先生の外来を月 1 回受けていますが、いつも言われていることの真意が理解できました。(積極的な社会参加など) また医学的な話だけでなく支援の仕方や意欲などの心理的な考え方などお話しいただき、大変参考になりました。もっともっと多くの人に参加いただき病気・障害への理解も広げていってほしいです。
- “頑張りたい”と思った。
- 突然の事故により障害が残り、どうしたらよいのか迷っていたのですがこれから共にいろいろなサービスにつなされる事を知り、共に勉強したいと思っています。
- 少しずつ回復していくというお話にとっても安心しました。心配して助けてくださる方々に感謝し、本人も生きがいや達成感に明るくなりますので、これからもそのように進められるよう願っております。
- いろいろな症状に対する対応策を聞くことができ、自分の家族(当事者)に置き換えた時、どうしたら良いのだろうかと考えることができ、参考になることが多かった。
- 障害者の方の専用の配置を作してほしいです。(車イスや歩行困難な方) 気分を悪くしてかえっていった方が居られたので。
- ※運営者より…車イスの方・歩行困難な方の専用スペースは会場前方に用意してありましたが、退場された方は当事者の体調によるもので、その後会場の外で支援者が付き添い、ご家族は講演

- 会に最後まで参加されました。
- 一歩踏み出して廻りの方の助けをお借りすることを実践したいと思います。“そうなんだ”とふに落ちるお話が沢山ありました。
- すべて勉強になりました。これから先生はじめ友の会を前進させ皆様のために発展されることを願っています。
- とても話がわかり易く理解することができました。
- いろいろ思い当たるところがありとても参考になりました。これからに生かしたいです。
- 今回佐野を会場にして下さってとても有意義なお話をありがとうございました。次回も期待しています。
- 高次脳機能障害の種類の多さ、具体的に、丁寧に教えて下さりとても勉強になりました。ただ 1 人 1 人違うので家族もどのような対応が正解でどれが間違いなのか? 家族が分からない時は相談にのって下さる先生が近くにいて欲しいです。
- 高次脳機能障害である頭としましては話の前にこの話があると知って聴くと少しおぼえやすくなると思います。
- リハビリを続けていけば 100%でなくても効果は出てくるということを聞いて希望が持てました。具体的な支援方法についてはまだまだ分からない事が多いので情報を集めていきたいです。
- 目標のレベルアップが大事ですね。
- 脱抑制について厳しく対処していいということは目からウロコでした。左脳出血後の失語症と認知症で度々暴言を吐かれストレスがたまっていました。間違ったことは少し厳しめに注意してみようと思いました。
- 障害には個人差があるということなのでどの程度、どのくらいできるか家族にはわかりにくい。

- 福祉関係で抜けているところを聞いて良かった。この障害になった時自分がどうしたらいいのか分からなかったが少しわかったように思える。リハビリの事も聞けたし、経験が大事であることも。
- 講演中集中できず話し出してしまった息子を会場の外で見守ってくれた人がいたので聴講することができました。具体的な話が聞けて大変参考になりました。これから役立てていきたいです。
- ダメな事はダメという意識。支援者が前向きになる。引き込まれない。
- 当事者であっても意欲をもってまず歩くことから取り組んでいます。いろいろと聞いたことを行動にうつして行きたいです。
- 各部分の機能障害について対応が分かり易く説明され、理解できました。びまん性についての内容も少し理解を深められ前進した。障害については少しずつ良くなっていくことが分かり、今後に対応して行きたい。
- 事例を挙げて説明し、対応等もまとめられていてとても良かった。

< 支援者・一般 >

- 施設には高次脳機能障の人が数名います。生活の中でトラブルになることもあり、対応に困るとき、説明の方法にとまどう時がありました。本日の講演内容を頭に入れて対応して行きたいと思います。
- とても勉強になりました。虐待・ひとり親・不登校児支援に生かしたいと思っています。安足地区でまた勉強させていただければと思います。運営の方々にも感謝します。
- わかり易い講演で良かったです。パワーポイントの資料があったらもっと良かったです。

- 常に支援者側が障害を理解した上で接することの大切さを感じました。常にこちらが初心でいることで次の目標をまた0からはじめられると思います。
- リハビリや AI の活用、車の運転など具体的なお話が聞けて大変参考になった。支援者自身も前向きに関わるという事を忘れずに援助していきたい。
- 高次脳を含めた障害者支援をしています。先生が診察した事例などを基に障害の実状がよく理解できた。当事者が意欲低下することなく自立していけるよう今日の話を参考に頑張っていきたい。
- あきらめず目標を設定して意欲を高めていけることがわかりました。また優しく接するだけでなくダメなことは注意していくことが改善につながるということは目からウロコでした。大変勉強になりました。
- 脳の機能、リハビリの必要性、周囲の対応方法について学ぶことができました。
- 本人との接し方についてとても参考になりました。
- 会場参加型の講演がとても良かったです。座学となると自分で考えることがあまりないので。今後のリハビリにも取り入れ自己理解のグループでも行ってみようと思います。当事者同士の事例検討をやってみます。
- 障害特性を理解し、意欲低下を招かないよう引っ張っていくことの重要性を知って大変参考になった。
- 時間の都合上、講演が速かったように思います。でもとても参考になりました。
- 自分が担当している患者さんと照らし合わせながら拝聴しました。とても参考になりました。

- 医師の立場でありながら本人や支援者のあり方を幅広い視点から話していたきとても勉強になりました。このような話をもっと多くの方にも聞いてもらい理解につなげていければいいと思います。
- 症状の特性と対応ポイントがきけてよかったです。
- 自分自身の視野を広げたいと思い参加しました。初めて知ることばかりで驚きもありましたが同じ世の中で生活している人の中にこのような方がいるということ、自分が出会ったときに何ができるのか具体的に考える機会となりました。
- 支援そのものの言葉は当事者に優しく、その意向の下という温かく見守るということだと思っていた。しかし当事者の為を思うのであれば社会に出て後悔しない支援をしなくてはいけないのかなあと思った。
- 途中客席と演者がやりとりする形式が良かったです。また支援について周りがある程度強引にでも本人に何かをさせた方が良いというのは少し驚きでした。
- 非常に勉強になりました。脱抑制の関わりの部分だけは福祉側として考えさせられるテーマでした。
- あえて課題を書かせてもらいます。
 - ・画面を忙しく変換されるので目が疲れました。
 - ・当事者もいる中で休けい 5 分はムリがあると思いました。
 - ・講演対象を明確にした方が良いのではないのでしょうか 若干盛り込みすぎの感がありました。
- 具体例が多くわかりやすかったです。
- 先生の熱のこもった講演で参加できてよかったです。1人1人の生活を考え

- た支援を今後もしていくように心がけたいと改めて思いました。
- 先生のお話がとても勉強になりました。講演資料をいただけたら帰ってからも活用できると思いました。
- 障害により特性は違うが誰にでも起こりうること。他人事ではない。自分の当たり前は当たり前ではない。できない事をサポートするのが当たり前の事。この講演では大切な人をサポートするのに必要なことを学べた。サポートする家族をサポートする必要性も感じた。理解してくれる人を増やす大切さも。とても勉強になりました。
- 高次脳機能障害の確定診断について伺いたかったです。内科と違って検査データというわけではありませんよね。Dr.によって診断に差が出るのでしょうか。色々疑問は残りました。ありがとうございました。
- どう対応したら良いのか日々戦っている状態でした。ポスターを見てとび入りで参加しました。暗中模索の状態から少し希望が見えてきました。
- スライドが小さく見にくかった。ゼロ・トレランスはキャリア・カウンセリングの「対決」と同じだと思いました。本当の優しさを知ったような気がします。
- 全体的には良かったと思います。しかし最初に質問の答えを求められて返答する事に時間を使うのであれば最後の質疑応答にもっと時間を使ってほしかった。
- 初めて参加しました。また近いうちにセミナーのある事を知り期待しています。

○船山先生のお話のスピードが少し速かったですが支援のしかたを学べて良かったです。支援する側の積極的アプローチが大事なこと当事者に対する接し方など教えていただきありがとうございました。

＜運営者として＞

短い時間の中で当事者、家族、支援者、そして一般の方に至るまで率直に思いや感じたことを書いて下さったことがそれぞれの文面から伝わり、この講演会を企画し運営した者として何よりのものをいただいたと感じています。

その内容は讃辞ばかりでなく苦言を呈してくださった方、足りないところを指摘

して下さった方もあり、また当事者をはじめとしてそれぞれの立場で今後の生活や仕事上での向き合い方や姿勢を述べられた方、決意を述べられた方も多かったように思います。本当にありがとうございました。高次脳機能障害と対峙することは努力と根気と寛容さと厳しさと沢山の人のつながりが必要不可欠ですが、これらは私達を人間として豊かにしてくれるものであることも確かです。互いに支えあいしっかりと周囲の方々と手を携えて歩んでいきましょう。時間はかかりますが生活のしづらさの改善は必ず見られるはずです。

中野

11月 県障害総合相談所主催 高次脳機能障害セミナー 参加
11月10日(日)13:30～15:30 健康の森 参加者183名(うち当会々員20名)

講演テーマ

高次脳機能障害の方の「困りごと」への対応
～安心して暮らし続けるために地域包括ケアを考えよう～

講師

NPO 法人 那須フロンティア
理事長 荻原喜茂氏(一社・日本作業療法士協会 副会長・事務局長)

国のモデル事業の頃から当障害に関わり栃木県における高次脳機能障害拠点整備に寄与された荻原先生は、現在、県北那須町を中心に障害者の自立支援にご尽力下さっています。

今回の参加者の多くは、地域包括ケアという文言もあったためかケアマネージャーさんでしたので、当障害について詳しくご存じの方は少なかったようです

が、それだけに今後の地域支援の上では大切な一歩となりそうです。またロビーには、県立図書館の方が高次脳機能障害関連書籍を展示・紹介して下さるコーナーも設けて下さって、大変有難かったです。休けい時間に本を手にとってご覧いただいた方も何人もいらっしゃいました。荻原先生には、これから当会とつながっていただき、ご指導・ご教示をいただきたいと思いました。

12月14日(土)11:00~13:00

12月クリスマス会

イタリアン・トマト オリオン通り店 参加者34名

おだやかな天気恵まれ、多くの方が今年もクリスマス会に集いました。会場も貸し切りで程よいスペースがあり、津軽三味線(山口さん)とギター(岩崎さん)のプロによる演奏も十分余裕をもって聞くことができました。その力強さと技術の高さを間近で感じ、とても新鮮で印象に残るクリスマス会になったようです。レストランも訪問リハのにこっとさんと関連のあるお店で、料理を取り分けて下さったり、オーダー(飲み物やケーキ)をこまめに聞いて下さったり、大変好評でした。若い参加者も、ピザあり、パスタ(2種)あり、ケーキありでお腹も十分満たされたようです。相談支援・就労支援・訪問リハ等に携わっている方々の

参加・協力もあって、素晴らしいクリスマス会になりました。勿論記念写真もバッチリ！！でした。

閉会後半数以上の方がカフェ・インクブルーに場所をかえて、1時間半ほど意見交換をしました。自然に年代別、あるいは立場別、そして相談員さんに相談したい人などの小グループに分かれて歓談しました。クリスマス会の余韻もあってか、ずいぶん話ははずんでいたようです。今年一年への感謝と来年またお会いできることを約束して15時すぎ散会となりました。



- | | | | |
|---------|------------------|-------------|------------------|
| ○ 家族相談会 | 10月・12月 | 申し込みなく中止 | |
| ○ 家族の集い | 9月25日(水) | 13:00~15:30 | 13名参加 カフェ・インクブルー |
| | 11月27日(水) | 13:00~15:00 | 8名参加 カフェ・インクブルー |
| ○ 電話相談 | 9月—4件 | 10月—2件 | 11月—2件 12月—1件 |
| ○ 役員会 | 9月24日 | 10月22日 | 11月26日 12月17日 |
| | 各10:30-13:00 ぽぽら | | |

研修会・委員会・その他の活動報告

※今回は紙面の都合上事柄のみの報告となりますが、詳細を知りたい方は事務局までお問合せ下さい。また、今後同様

の研修会等に参加したいというご希望のある方もご連絡下さい。県内外で情報入手や学習する機会はたくさんあります。

法人後見支援員養成研修

第1回 9月2日(月) 9:50-15:30

福祉プラザ オブザーバー参加 中野

第2回 9月27日(金) 9:50-15:30

福祉プラザ オブザーバー参加 中野

県障害者総合相談所主催 家族教室

9月6日(金) 13:00-15:30

県立リハビリテーションセンター 参加者 18名 講師派遣 中野

しもつけ福祉塾

9月11日(水) 13:30-16:00

下野市役所 参加者 中野

「あったか地域の大家族～富山型ディサービスの26年」惣万佳代子氏 講演

北関東家族交流会

9月12日(木) 10:30-12:00

さいたま市大宮区役所 参加者 中野

12月19日(木) 10:30-12:00

さいたま市大宮区役所 参加者 中野

佐野家族の集い

9月13日(金) 13:00-15:00

いきいき元気館たぬま 参加者 中野

11月8日(金) 13:00-15:00

いきいき元気館たぬま 参加者 中野

県立リハビリテーションセンター駒生園主催 家族教室

9月19日(木) 13:15-15:00

参加者 22名 講師派遣 中野

TKK 高次脳機能障害アプローチ講習会

9月29日(日) 10:30-17:20

東京永田町 JA 共済ビル 参加者 中野

クリスマス会打ち合わせ

10月15日(火) 11:00-12:00

イタリアントマト オリオン通り店 石井・中野

日本高次脳機能障害友の会主催 全国大会 in 香川

交流会 10月18日(金) 18:00-20:00

高松国際ホテル

大会 10月19日(土) 9:00-16:15

レグザムホール(香川県民ホール)

参加者 中野靖・中野和

※来年は郡山での開催予定です。皆さんで参加しませんか。

高次脳機能障害連携支援協議会

10月21日(月) 16:00-17:30

福祉プラザ 出席者 中野

カルフル栃木 パネル展示とスタンプラリー

準備 11月1日(金) 14:00-16:00

展示 11月2日(土) 9:00-14:00

担当 中野(スタンプラリー当番 13:00-14:00 石井一)

日光市障がい福祉課訪問

11月7日(木) 11:00-11:45 中野

TDF 学習会

“難病” 11月19日(火) 10:00-12:00

福祉プラザ 参加者 中野

“てんかん” 12月11日(水) 13:30-15:30

福祉プラザ 参加者 中野・大門

神奈川リハビリテーション講習会

「高次脳機能障害と社会的行動障害を考える」講演 上田敬太 先生

12月8日(日) 13:00 ~ 16:30

川崎総合福祉センター 参加者 中野

栃木県障害者総合相談所より

事故や脳の病気の後、様々な症状や生活上の問題でお困りの方がおられましたら

栃木県障害者総合相談所 高次脳機能障害担当

TEL 028-623-6114

までご連絡下さい。

受付時間 8:30-17:15(土・日・祝日・年末年始を除く)

2020年1月～3月の活動予定

1月11日（土）13:00-16:00 ぽぽら

定例会 仲間リハ パソコン —新年の抱負—
なごみの会 抱負についての語り合い

1月22日（水）13:00-15:00 カフェ・インクブルー

家族の集い（当事者の方はお遠慮ください）

2月8日（土）13:00-16:00 ぽぽら

定例会 仲間リハ パステル画 “風景”
なごみの会 就労について“わからない事・困っている事”

2月28日（金）10:00-12:00 ぽぽら

家族相談会（個別・要予約）

3月14日（土）13:00-16:00 ぽぽら

定例会 仲間リハ コラージュ
なごみの会 来年度の活動について

3月25日（金）13:00-15:00 カフェ・インクブルー

家族の集い（当事者の方はお遠慮ください）

◎4月の友の会の活動は役員会以外すべてお休みです。

定期総会は5月ですが、改めてご案内いたします。

今年度から家族の集いを隔月開催しています。場所はオリオンスクエアに面する東側のビル（カフェ・インクブルー）です。お茶でも飲みながら家族の思いや悩みを皆さんで話してみませんか。前もってのご連絡は不要です。参加されると少し楽になれるかもしれません。（当事者の方のご参加はお遠慮下さい。）

カフェ・インクブルー 宇都宮市江野町9番8号 山崎ビル TEL 028-688-8501

家族相談会は**従来通りぽぽら**で、予約制で行います。
電話は 0285-38-6485 です。

おすすめの本

書名 「脳を育て 夢をかなえる」
著者 川島 隆太
発売元 くもん出版
定価 1,200 円＋税
発行日 2003 年 7 月 23 日

高次脳機能障害に関する多くの講演ではその障害の原因に関して、脳のしくみと働きが頻繁にスライドに登場し詳細な説明がありますが、私達家族や当事者にとってそれはなかなか難解に思えて、スムーズに理解できない場合が多々あります。この本は子どもを育てるために著わ

された本で当障害とは直接関係ないのですが、とても脳のしくみと働きが分かり易く著され、家でのリハにも役立つ内容だと思います。先日、川崎の講演会で見つけました。(発行されたのはずいぶん前ですが)

書名 「高次脳機能障害 多職種連携支援・事例検討会・制度活用の手引き」(冊子)
発行(改訂) 2019 年 1 月 (2019 年 10 月)
問合せ先 ○瀧澤 学 神奈川総合リハビリテーション事業団
〒243-0121 厚木市七沢 516
TEL 046-249-2602
○NPO 法人 日本高次脳機能障害友の会
〒460-0021 名古屋市中区平和 2-3-10 仙田ビル 4F
TEL 080-1592-8414

家族は基礎的な知識や自身の制度活用のために、支援者は各対象者の障害特性理解の確認と各支援の中での具体的制度

活用のためにということでご紹介いたします。

寄付のお願い

引き出しの奥に眠っている古いハガキや切手、テレホンカード、また書損じハガキ等ありましたら是非ご寄付下さい。新しいハガキ等に交換させて頂き、活動の一助にさせて頂きたいと思っております。

毎年たくさんのご寄付をいただき、通信用切手・ハガキ等に交換させていただいております。ありがとうございます。

多くのご支援に心から感謝申し上げます

—お陰様で会活動も幅広くなり、救済される当事者・家族も増えております。—

<2019年度賛助会員並びにご寄附を下さった皆様>12月末日現在

高柳 慎八郎 様	船山 道隆 様	齋藤 久雄 様	笹川 正憲 様
塙 瑞穂 様	長野 泰恵 様	小賀野 操 様	大賀 昌子 様
倉井 佳子 様	小野 二千光 様	小原 枝美子 様	藤井 弘一 様
斎藤 弘美 様	小森 まどか 様	片根 実 様	成塚 陽太 様
行澤 省吾 様	松川 勇 様	坂本 ケイ 様	坂本 芳博 様
中野 千恵子 様	永島 徹 様	川里 庸子 様	平田 郁代 様
松山 正子 様	齋藤 正憲 様	蓼沼 美智代 様	

国際医療福祉大学学生ボランティア スラオ 様
社会福祉法人みゆきの杜 Joy みゆき 大関喜子 様
交通事故弁護士ネットワーク 様
他 役員、正会員の方からも寄附を頂きました。

<ボランティアで会活動を支えて下さった皆様> 定例会・講演会・研修旅行等のサポート

国際医療福祉大学学生ボランティア スラオ 様
足利赤十字病院リハビリテーション技術課スタッフ 様
Cocowa (多機能型事業所) 様
NPO 法人 風の詩 永島徹 様

<未使用切手、書き損じハガキ等の寄附もたくさんいただきました>

2019年12月末日現在の正会員数 36 家族 (活動への参加 69 名)



入会のご案内

高次脳機能障害者（児）とその家族が悩みを話したり、医療や福祉に関する情報を交換したり、理解ある方々の支援の下一人一人の可能性を伸ばし、楽しみや生活の目標を見つけて地域の中で暮らすことができるよう活動しています。一人で悩まずに共に活動していきましょう。

なお、この障害にご理解・ご支援下さる方も、どうぞ賛助会員として長く関わって頂けますようお願い致します。

【活動内容】

- ・定例会開催（仲間リハ・なごみの会）
- ・講演会・学習会の開催
- ・会報誌（なごみだより）年3回発行
- ・家族の相談会（個別）、家族の集い
- ・研修旅行 など

【年会費（一口）】

正会員（個人・家族）	3,000 円
賛助会員（個人）	2,000 円
賛助会員（団体）	5,000 円

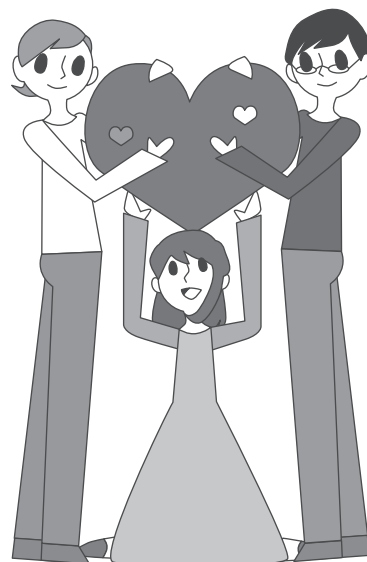
【主な活動場所】

ぽぽら

〒320-0032 宇都宮市昭和 2-2-7

TEL 028-623-3455

※県庁西側 税務署北側



編集後記

かなり前になりますが、全国大会の交流会でたまたま同テーブルになった富山の家族会の方から、富山方式のディサービス事業の話をうかがったことがあります。その後それは TV 等でも報じられたことがあり、強く印象に残りました。高齢者介護と障害者福祉そして乳幼児保育の一体化した取り組みだったからです。その立役者でもあり今も活躍しておられる惣万さんにしもつけ福祉塾でお話をうかがいました。そのエネルギーな言葉と行動力、すばらしいと思うと同時に、私を含む多くの聴き手の今後の実践力が問われていると痛感しました。

☆お問い合わせ・お申し込み先

〒329-0502

下野市下古山 3003-47（中野宅）

TEL/FAX 0285-38-6485

※定例会の見学・体験なども随時受け付けています。ご希望の方はご連絡下さい。

会報作成担当

表紙・絵 : 石井 一隆 石井 ミヨ

本文編集 : 中野 和子 中野 宥

印刷・製本 : Cocowa（多機能型事業所）

クリスマス会



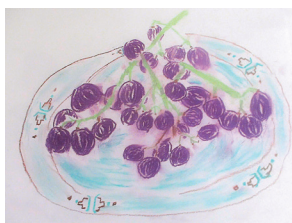
▲みんなで会食



▲演奏を聴きながら…



▲集合写真



仲間リハ
パステル画

秋の果物と
野菜の中から